

新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休業期間が延び、なかなか学校の再開になりませんが、生徒の皆さん健康管理はできていますか？規則正しい生活はできていますか？1940年代北アフリカのアルジェリアを舞台としたカミュ（フランス小説家、ノーベル文学賞受賞）の「ペスト」では、4月から始まった疫病の終息は翌年2月です。この作品のなかで、人はどう振る舞うかが問われています。今は我慢しながら毎日を充実させる意識と実践をしてほしいです。

## ○昨年度入試結果

2020年度（令和2年度）入試における国公立大学の現役合格者は17（山口大学4、九州工業大学1、大分大学1、山口県立大学2、山口東京理科大学2、下関市立大学6、北九州市立大学1）名でした。

## ○過去10年間の大学合格者数の推移

	国立大学		公立大学		私立大学	
	現役	浪人	現役	浪人	現役	浪人
平成22年	45	5	20	2	128	70
平成23年	32	14	19	6	177	42
平成24年	27	11	16	4	151	40
平成25年	29	12	12	2	164	43
平成26年	22	14	11	2	230	47
平成27年	16	13	25	3	171	67
平成28年	24	10	12	5	168	27
平成29年	16	10	15	1	169	39
平成30年	18	8	15	2	142	28
平成31年	7	9	22	4	153	47
令和2年	6	5	11	2	169	31



10年前の平成22年度入試では、国立大学45名は岡山大学2、広島大学5、山口大学22、九州大学2、九州工業大学3、長崎大学3、香川大学2などの現役合格者が出ていました。公立大学では、北九州市立大学の9名をはじめ、首都大学東京まで全国各地に20名の合格者がいました。

## ”豊浦高校生、今こそ「原点回帰」を目指して頑張ろう！”

豊浦高校の「文武両道」の姿勢に立ち返り、「勉強」も「部活動」も両方を頑張る気概を再確認しましょう。目標を高く持って粘り強く努力する「豊高生」であってほしい。「行けるところに行く」ではなく、「行きたい大学を目指して頑張る」ことが大切です。そのためには、1年生は将来何になりたいかを考え、2年生はそれを実現するにはどうしたらよいかを考え、3年生は実現するために実践していくことです。「社会から期待され、それに惜しみなく応えられる。自分にとってそういう仕事とは何か（鷲田清一）」を考えることです。やりたいことを見つけること、職業観の確立が志望大学の決定につながります。「合格率の高さはスタートの早さに比例する！」と言われます。そこにはフライングはありません。

## やってほしいこと 5か条

### 1 健康管理

1に健康、2に学習時間の確保。「凡事徹底」を心がけ、「よく食べ、よく寝る、よく勉強する」こと。遅刻、欠席、深夜学習をしないこと。

### 2 楽しく過ごす

笑顔で過ごしていると友人も集まってきます。気持ちよく勉強し、部活動に取り組もう。

### 3 受験科目を減らさない

「受験科目が少ない方が楽」と思いがちですが、5教科で最後まで頑張ると受験可能大学も増え、最後までやり抜くことが合格につながります。「共通テストは大きな定期考査」と考えてやっていきましょう。

### 4 量の確保

他の進学校では「量より質」を目指すと聞きますが、君たちはまず「量」です。毎日の復習・予習において「学年+2時間」を目標にやっていきましょう。

### 5 1つ上を目指す

多くの野球部が「目指せ甲子園！」と目標を発言しても誰も文句は言わないはず。しかし「目指せ〇〇大学！」と言うと「何言ってるんだ」と否定されることがある。おかしくはないか？行きたい大学、行ってみたい大学を目標にあげ目指していこう。目指すことで、そこに行けば、見える景色が変わってくるはず。1つ上を目指すことが君たちを大いに飛躍させるはず。

